



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月9日  
東

上場会社名 カバー株式会社 上場取引所  
コード番号 5253 URL <https://cover-corp.com>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷郷 元昭  
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 CFO 兼 経営企画室長 (氏名)金子 陽亮 (TEL)03(6280)4036  
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,276	-	2,304	-	2,311	-	1,657	-
2023年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	27.11	24.75
2023年3月期第2四半期	-	-

(注) 当社は、2023年3月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の数値及び2024年3月期第2四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,785	8,663	48.7
2023年3月期	15,887	7,006	44.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,659百万円 2023年3月期 7,002百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,562	29.9	4,650	36.1	4,623	36.6	3,236	29.0	52.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	61,124,200株	2023年3月期	61,124,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	-株	2023年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	61,124,200株	2023年3月期2Q	59,624,200株

(注) 当社は、2022年12月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社はミッションとして「つくろう。世界が愛するカルチャーを。」を掲げ、日本発のエンターテインメント・カルチャーを作り出し世界中のユーザーに広めていくことにより、日本のユニークな強みであるアニメ、ゲームといった文化に関わるクリエイターの活動の場を増やしていくことを目指しております。

当第2四半期につきましては、海外及び国内における複数のライブコンサート実施やテレビ等の多様なメディア出演により、インターネット上でのライブ配信のみに留まらない当社IPの多面的な露出拡大を推進いたしました。加えて、同期間においてデビューした海外及び国内の新規女性VTuberユニットにより一層の顧客層拡大も促進しており、2023年9月末時点で当社所属VTuberのYouTubeチャンネル登録総数（注）は8,319万人まで伸長しております。その結果、当第2四半期累計期間の配信/コンテンツ分野の売上高は3,451,510千円、ライブ/イベント分野の売上高は1,661,167千円となりました。

また、当社のコマースビジネスに関しましては売上高が年度下半期に偏りやすい季節性があるものの、IPの影響力拡大を背景として商品取引高は引き続き堅調に推移しており、当第2四半期累計期間のマーチャンダイジング分野の売上高は5,361,267千円、ライセンス/タイアップ分野の売上高は1,802,100千円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は12,276,046千円、営業利益は2,304,643千円、経常利益は2,311,765千円、四半期純利益は1,657,185千円となりました。

（注）YouTubeチャンネル登録総数は、2023年9月30日時点の所属VTuber及び公式のYouTubeチャンネル登録数の総和

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末より1,898,396千円増加し、17,785,405千円となりました。これは主に、新スタジオ建設及び本社移転を中心とした有形固定資産の増加2,037,863千円並びにメタバースサービス「ホロアース」開発に伴うソフトウェア仮勘定を中心とした無形固定資産の増加674,966千円があった一方で、売掛金が1,767,499千円減少したことによるものであります。

##### （負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末より241,211千円増加し、9,121,912千円となりました。これは主に、前受金が1,168,998千円増加した一方で、買掛金が1,087,191千円減少したことによるものであります。

##### （純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末より1,657,185千円増加し、8,663,493千円となりました。これは利益剰余金が1,657,185千円増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ189,405千円減少し、7,603,876千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により獲得した資金は、2,787,827千円となりました。これは主に、仕入債務の減少1,087,191千円、法人税等の支払額717,409千円等の資金の減少要因があったものの、税引前四半期純利益2,250,838千円の計上、売上債権の減少1,767,499千円、前受金の増加1,078,145千円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により支出した資金は、2,975,656千円となりました。これは主に、新スタジオ建設及び本社移転に伴う有形固定資産の取得による支出2,079,257千円、メタバースサービス「ホロアース」開発に伴う無形固定資産の取得による支出732,368千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増減した資金はありません。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、中長期戦略として①付加価値の高いIPの開発とファンベースの確立、②コマース展開と先行投資、③メタバースサービスの展開の3段階の事業拡大戦略を掲げ、持続的な成長を目指してまいります。2024年3月期の業績見通しにつきましては、2023年5月12日に発表した通期業績予想からの変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,793,282	7,603,876
売掛金	3,216,557	1,449,058
商品	338,430	610,771
その他	405,338	1,220,838
貸倒引当金	△12,746	△6,533
流動資産合計	11,740,862	10,878,010
固定資産		
有形固定資産	1,899,993	3,937,856
無形固定資産	1,065,007	1,739,973
投資その他の資産		
差入保証金	909,295	887,655
繰延税金資産	271,820	192,408
その他	30	149,500
投資その他の資産合計	1,181,145	1,229,564
固定資産合計	4,146,146	6,907,394
資産合計	15,887,009	17,785,405
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,084,235	997,044
未払法人税等	772,916	559,841
前受金	4,097,882	5,266,880
賞与引当金	210,185	188,002
その他	1,672,987	1,222,909
流動負債合計	8,838,207	8,234,678
固定負債		
資産除去債務	42,493	887,233
固定負債合計	42,493	887,233
負債合計	8,880,701	9,121,912
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	973,121	973,121
資本剰余金		
資本準備金	970,121	970,121
資本剰余金合計	970,121	970,121
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	5,059,246	6,716,431
利益剰余金合計	5,059,246	6,716,431
株主資本合計	7,002,488	8,659,673
新株予約権	3,820	3,820
純資産合計	7,006,308	8,663,493
負債純資産合計	15,887,009	17,785,405

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	12,276,046
売上原価	6,309,834
売上総利益	5,966,211
販売費及び一般管理費	3,661,568
営業利益	2,304,643
営業外収益	
受取利息	43
為替差益	6,913
その他	165
営業外収益合計	7,122
経常利益	2,311,765
特別損失	
移転損失	60,927
特別損失合計	60,927
税引前四半期純利益	2,250,838
法人税、住民税及び事業税	514,241
法人税等調整額	79,411
法人税等合計	593,653
四半期純利益	1,657,185

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	2,250,838
減価償却費	194,710
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,212
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,183
受取利息	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	1,767,499
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△272,341
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,087,191
前受金の増減額 (△は減少)	1,078,145
その他	△398,028
小計	3,505,193
利息の受取額	43
法人税等の支払額	△717,409
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,787,827</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,079,257
無形固定資産の取得による支出	△732,368
資産除去債務の履行による支出	△45,670
差入保証金の減少による収入	21,639
その他	△140,000
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,975,656</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,576
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△189,405
現金及び現金同等物の期首残高	7,793,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,603,876



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社の工具、器具及び備品の減価償却方法については、定率法を採用しておりましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

当事業年度において、2023年5月の新スタジオの稼働開始と、2023年6月の新本社オフィスへの移転を契機に、資産の使用実態に鑑み償却方法を見直した結果、定額法により均等に費用配分することが合理的であると判断しました。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第2四半期累計期間の減価償却費が83百万円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ83百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

当社は、VTuber事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。